

池田ロータリークラブ創立60周年記念事業 「五月山ふれあい動物園」 入場ゲート寄贈

池田RC 会長

田嶋也寸志

3月21日、気持ちよく晴れ渡る五月山公園で、池田ロータリークラブ創立60周年記念事業として「五月山ふれあい動物園」入場ゲートの寄贈式が行われました。

五月山動物園は「日本一小さな動物園」として多くの家族連れの皆さんに親しまれてきました。このたび、園内のスペース約1500㎡を拡張し、子どもたちに親しみのある「三びきのこぶた」や「三びきのやぎのがらがらどん」など、童話をテーマにしたゾーンを設け「ふれあい動物園」として整備されました。

「三びきのこぶたゾーン」では、子どもたちがミニブタショーなどのイベントを通じて動物にふれあうことができます。このたび動物たちを身近に感じる「世界一ハートのある動物園」としてリニューアルされ、さらなる人気のスポットとなりました。

寄贈式当日は、動物園に隣接する公園に設けられた「忍者の砦」のオープニングセレモニーも開催され、多く

の子どもたちで賑わいました。

入場ゲートの寄贈が決まってからは、クラブ全員でゲートのアイデアを出し合い、最終的には4つの案の中から、「世界一ハートのある動物園」のキャッチフレーズにちなんで25個のハートが散りばめられたデザインと決まりました。また、ゲート越しに阪神高速道路池田線新猪名川大橋、通称「ビックハープ」の美しい姿も見える場所に設置するために現場で何度も打ち合わせをおこないました。

計画当初より、春休みや桜のシーズン前のこの時期に完成時期を目標におき、予定通り完成することができました。市民の方々の評判も上々です。会員全員で協力してひとつの事業を成し得た、ということで池田ロータリークラブとしても今後の活動に自信を持つことができました。これからも、この入場ゲートが動物園に訪れた方の思い出作りに役立つことを願っています。

